

5章 全国のバレエ教室のデータ整備

5章 全国のバレエ教室のデータ整備

1. 概要

日本においてダンサー育成の基盤は、全国に4,200以上あると推計される民間のバレエ教室が担っている。その分布は全ての都道府県に広がっており、日本バレエから優れたダンサーを輩出する下支えともなっている。しかし、日本におけるバレエダンサー育成は制度化されておらず、バレエダンサー育成の最終地点とも言える日本のプロバレエ団とバレエ教室の組織的なつながりが少ないことが多い。そうした民間のバレエ教室で育成されたダンサーらはバレエ団の下部組織を通らずに入団することも多い。

民間のバレエ教室が育成を担っているという実態にもかかわらずバレエ団側はその詳細を把握できているとは言い難い。バレエ団が把握しようとしても、民間バレエ教室の所在地といった基礎情報を網羅的に掌握しているデータは存在しない。そのため全体把握のために調査する必要がある。本調査は将来的にバレエ団とバレエ教室の連携によって効果的なバレエダンサーを育成することを目的としてバレエ教室の基礎データ整備を行った。

(調査：昭和音楽大学バレエ研究所)

2. 調査方法

昭和音楽大学バレエ研究所では2011年より「バレエ教育に関する全国調査」を開始し、5年に1度バレエ学習者数、バレエ教室数、バレエ教師数の調査を行なっている。本調査は、同研究所の協力の元、既存のデータベースを活用して実施した。調査は、調査員が各都道府県のバレエ教室に関して1件ずつインターネットを用いて公式ホームページなどで確認して手作業で行う。

3. 調査期間

2023年5月～2023年9月

4. データ項目

データ項目は、所在地情報および連絡手段の収集を中心におこなった。所在情報は教室名、代表者名、電話番号、FAX番号、メールアドレス、問い合わせサイト等を指す。

5. 調査成果

上記データベースを活用し、本年は北陸地方を中心に3県の調査を行なった。各都道府県のバレエ教室情報を集めた後に、インターネットを通じて各バレエ教室の公式ホームページやSNS等で基礎情報を確認し、手作業でデータの収集を行った。本調査により、富山県には55件、石川県には65件、福井県には21件のバレエを教えている組織（通称バレエ教室）があり、メールアドレスの有るバレエ教室は20%、問い合わせフォームのあるバレエ教室は24%、電話記載のあるバレエ教室は11%であり、連絡手段をインターネット上で公開していないバレエ教室は16%であることが明らかとなった。またHPのあるバレエ教室は78%であった。

参考) 都道府県別調査結果

本調査で対象とした都道府県別のバレエ教室一覧は以下である。

表1 調査対象教室数一覧（都道府県別）

富山県	55
石川県	65
福井県	21
合計	142